

【制定後の取組】

1 稲むらの火の館とアチェ津波博物館による協力協定（平成28年1月）

「世界津波の日」ゆかりの和歌山県広川町「稲むらの火の館」とインドネシア共和国アチェ州バンダ・アチェ市「アチェ津波博物館」が津波防災への取組を発展させるため協力協定を締結

協定締結式

日 時：平成28年1月16日（土）

場 所：稲むらの火の館 津波防災教育センター

署 名 者：広川町長（西岡利記）

アチェ津波博物館長（トミー・ムリア・ハサン）

そ の 他：記念品の贈呈、植樹



2 世界津波の日制定記念イベント「世界津波の日制定記念講演と稲むら太鼓」（平成28年2月）

「世界津波の日」制定を記念し、関西大学の河田教授による記念講演をいただくと共に、濱口梧陵に縁のある稲むら太鼓の演奏などのイベントを開催

日 時：平成28年2月26日（金）

場 所：和歌山県民文化会館 大ホール

参 加 者：約2000名

内 容：

記念講演 河田恵昭 関西大学社会安全学部教授

演題「和歌山から発信する世界津波防災の知恵

Wakayama's Wisdom on Worldwide Tsunami Disaster Resilience」

記念イベント

「稲むらの火 ～津波から村を守った庄屋の話～」合唱

「稲むらの火の館」名誉館長就任式

「濱口梧陵ご献上稲むら太鼓」演奏



3 ニューヨーク国連本部訪問（平成28年3月）

二階総務会長の政府団に危機管理監が随同行し、ニューヨークの国連本部を訪問。津波防災関心国との会合を行うとともに、国連主催の「世界津波の日」制定記念レセプションに参加

日 時：平成28年3月29日（日本時間3月30日未明）

※全行程3月27日から3月31日

場 所：ニューヨーク 国連本部

その他：二階会長はジャパンソサエティにて講演会を実施し、
ジム・ギャノン日本国際交流センター事務局長と対談

※二階会長コメント

「稲むらの火」の教訓を世界に伝えたい。本年は「世界津波の日」元年。国際社会が連帯して防災に対応するスタートの年。



4 インドネシア共和国における「世界津波の日」にかかる知事講演会（平成28年4月）

インドネシア共和国のアチェ博物館及びピヌス大学において、知事による「世界津波の日」と濱口梧陵に関する基調講演を実施

日 時：①平成28年4月17日（アチェ）

②平成28年4月18日（ピヌス大学）

場 所：①アチェ津波博物館

②ジャカルタ ピヌス大学



5 南米訪問（平成28年7月）

二階総務会長の政府団に危機管理監が随同行し、ペルー、チリを訪問。津波防災関心国との会合を行うとともに、二階総務会長による「世界津波の日」講演会、レセプションに参加

日 時：①平成28年7月25日（日本時間7月25日未明）

②平成28年7月27日（日本時間7月26日深夜）

場 所：①チリ／サンティアゴ、②ペルー／リマ

その他：ONEMI緊急対策センター視察（チリ／サンティアゴ）

世界津波の日高校生サミットへの出席者との懇談（ペルー／リマ）

日ペルー地震防災センター視察（ペルー／リマ）

6 濱口梧陵国際賞授賞式及び記念講演会（平成28年10月・11月）

世界津波の日に関連した国際賞として、今年度創設。沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人または団体を表彰

◆受賞者

首藤伸夫氏（日本） 東北大学名誉教授／日本大学教授
エディ・バーナード氏（アメリカ） 前アメリカ海洋大気庁（NOAA）太平洋海洋環境研究所長
ONEMI（チリ） チリ共和国内務省国家緊急対策室 ※団体での受賞

◆濱口梧陵国際賞授賞式

実施日時：平成28年10月31日（月）15：00～
実施場所：東海大学校友会館（霞が関ビル）
主 催：国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会
後 援：国土交通省、和歌山県、広川町 ほか
スケジュール
15：00 授賞式
15：40 記念講演会
17：45 交流会

◆和歌山大学での記念講演会

実施日時：平成28年11月2日（水）14：00～
実施場所：和歌山大学 G102教室（和歌山市栄谷930）
主 催：和歌山県、広川町
共 催：和歌山大学
参 加 者：約250名
※講演会の後、受賞者は稲むらの火の館を視察



濱 口 梧 陵 翁

7 津波防災講演会（平成28年11月）

11月5日の「世界津波の日」を迎えるにあたり、住民の防災意識向上を目的とした「津波防災講演会」を平成23年度から開催

実施日時：平成28年11月3日（木・祝） 13:30～15:50
実施場所：美浜町立松洋中学校体育館
プログラム：基調講演「巨大津波想定に向かい合う ～和歌山県の地域防災と防災教育を考える～」
講師 片田敏孝氏（群馬大学大学院理工学部教授、広域首都圏防災研究センター長）
主 催：和歌山県、和歌山県教育委員会、美浜町
協 力：美浜町教育委員会
後 援：内閣府（防災担当）
参 加 者：約400名



8 和歌山県「世界津波の日」地震・津波避難訓練（平成28年11月）

「世界津波の日」の趣旨を伝え、津波防災の意識を高めるとともに、適切な避難行動の定着を図るため、県内全市町村において、地震・津波避難訓練を実施

実施日時：平成28年11月4日（金） 10:00～
参加団体：国、県、市町村、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校
自治会・自主防災組織、福祉施設、宿泊施設、観光施設、事業所 等
訓練想定：平成28年11月4日午前10時頃、和歌山県南方沖でマグニチュード8.7の地震が発生
訓練内容：気象庁が発する「緊急地震速報（訓練報）」や市町村や学校が発する
訓練報を機に身の安全を守る以下の訓練を行う。
①情報伝達訓練
②シェイクアウト訓練
③「世界津波の日」、「津波防災の日」、「稲むらの火」に関する学習
④避難カードによる避難場所の確認 等



9 平成28年度石油コンビナート等総合防災訓練（平成28年11月）

「世界津波の日」を迎えるにあたり、津波災害対応実践訓練の一環として石油コンビナートにかかる総合防災訓練を実施

実施日時：平成28年11月4日（金） 13:30～
実施場所：東燃ゼネラル株式会社和歌山工場
主 催：和歌山県
協 賛：有田市、和歌山北部臨海広域消防協議会
訓練想定：和歌山県南方沖でM8.7の地震が発生し、その後の余震でタンクから油流出や火災が発生
訓練内容：津波災害対応実践訓練の一環として、海上訓練、陸上訓練等を実施



10 津浪祭・津波避難訓練（平成28年11月）

安政南海地震の津波により犠牲となった人々の霊を慰め、また、濱口梧陵の偉業を後世に語り継ぐため、犠牲者の50回忌となる1903年から開催され、100年以上実施。併せて、内閣府と連携し、避難訓練を実施

実施日時：平成28年11月5日（土） 9:00～ 津浪祭
10:20～ 避難訓練

実施場所：広川町
実施団体：広川町、内閣府（訓練のみ）



11 世界津波の日フォーラム(平成28年11月)

「世界津波の日」の趣旨に基づき、津波防災及び国土強靱化の重要性を発信していくため、有識者による講演会・パネルディスカッション等を実施
実施日時：平成28年11月5日（土）

実施場所：イノカンファレンスRoomA（東京）

主催：内閣官房（国土強靱化推進室）

スケジュール

14:30 開会

14:55 基調講演 ①塚越保祐氏（世界銀行駐日特別代表）

②ピクトル・オレジャーナ氏（チリ共和国内務省国家緊急対策室次官）

③藤井聡氏（内閣官房参与・京都大学大学院教授）

16:10 鼎談



12 海外女性(UNITAR)の津波防災に関するリーダーシップ研修(平成28年11月)

「世界津波の日」制定を契機に、UNITAR（国連訓練調査研究所）広島事務所による津波防災に関する海外女性管理職者を対象とした研修を開催

実施日時：平成28年11月4日（金）、5日（土）

実施団体：UNITAR（国連訓練調査研究所）広島事務所、外務省

参加者：小島嶼開発途上国14か国（30名程度）

内容：津波避難訓練、稲むらの火の館など視察



13 チリ共和国等による県内防災関連施設の視察(平成28年11月)

宮崎県と国土交通省九州地方整備局、チリ共和国で実施する合同訓練に合わせ、稲むらの火の館など和歌山県にある防災関連施設を視察

実施日時：平成28年11月7日（月）～9日（水）

実施団体：JICA、国交省、チリ共和国

参加国：チリ、エクアドル、ペルー、コロンビア、ニカラグア、エルサルバドル（20名程度）

内容：土砂災害啓発センター、稲むらの火の館など視察



14 「世界津波の日」高校生スタディツアー(平成28年11月)

世界各国の高校生による訪日団（「若き津波防災大使」）と地元高校生の国際交流を通じ、「世界津波の日」の趣旨の普及啓発を図る

訪日した世界各国の高校生は、2班（東北班、和歌山班）に分かれ、それぞれ地元高校生との防災学習等を実施

※11/25、26 高知県黒潮町において、世界津波の日高校生サミットを実施（15.参照）

実施日時：平成28年11月23日（水・祝）、24日（木）

関係機関：和歌山県、和歌山県教育委員会、

国土強靱化推進本部、内閣府（防災）、外務省、文部科学省、経済協力開発機構（OECD）

参加者：世界各国の高校生（本県には16か国、約150人が来県）

スケジュール：11月23日13:00～和歌山県の防災取組に関する学習、視察（和歌山県防災センター、和歌山城など）

11月24日 9:40～防災スクール（耐久高校）

13:20～フィールドワーク（稲むらの火の館など）



15 「世界津波の日」高校生サミットin黒潮(平成28年11月)

高知県黒潮町において、世界津波の日高校生サミットを実施し、世界各国の高校生による訪日団（「若き津波防災大使」）の国際交流を通じ、「世界津波の日」の普及啓発を図る

実施日時：平成28年11月25日（金）、26日（土）

実施場所：土佐西南大規模公園（高知県黒潮町入野388）

主催：高知県、高知県教育委員会、黒潮町、黒潮町教育委員会

共催：国連国際防災戦略事務局（UNISDR）駐日事務所

後援：国土強靱化推進本部、内閣府（防災）、外務省、文部科学省、経済協力開発機構（OECD）

参加者：世界各国の高校生（29か国、約290人）

日本の高校生18府県、38校、約170人（和歌山県から日高高校が参加）

スケジュール：11月25日 16:30 開会式

11月26日 8:05 分科会・フィールドワーク等

13:40 記念植樹・全体記念撮影

15:00 総会

18:40 フェアウェルパーティー



16 橋復興副大臣による「車座ふるさとトーク」の開催

東日本大震災の記憶の風化が進む中で、濱口梧陵の功績を後世に伝える取組を進める広川町において、住民との対話を通じ、今後の復興のあり方を探るため、復興庁による「車座ふるさとトーク」を開催

実施日時：平成29年3月25日（土） 実施団体：復興庁

参加者：橋復興副大臣、地域住民10名（松林教育長、崎山館長、語り部サークルメンバー、教員、高校生）

内容：「防災に係る知見の共有と震災の記憶の風化」をテーマに車座の対話を実施

